

施設内店舗に番号を・発想！！



公開: 2012(24).11.01

下記の多くの施設で、番地を表示していただけると、利用者、来店者の利便が増すのでは、と提案いたします。多くの施設で、趣旨に賛同をいただいてご利用いただけることを願っています。

モール, アウトレット, 大規模店舗, スーパーマーケット, 大型商業施設, 催事場, 遊園地, 屋外催事場, 動物園, 水族館, 展示場, 見本市, 百貨店, 百貨店屋上, 店舗番号, 出展コーナー, 番号表示, 駅構内, 駅構内案内, 案内地図

発想の趣旨

通常、個人の家や、マンション、ホテル、旅館、そのほか、建物には番地が表示されています。そのため、全く知らない箇所に行っても、目的とする建物がわかります。

しかし、その建物の中に入ると、目的の箇所をどのようにして探せばよいのかが分からず、なかなかたどりつけないことがあります。特に、大規模商業施設などでは、案内版を探すことに苦勞し、その案内版の天地、方向が不明で、自分のいる位置は指定があるが、目的の店舗を探すのに苦勞し、どの方向へ行けばよいのかが不明で、悩むことがしばしば生じます。

この場合、柱に番号が振ってあり、その柱を目当てに歩いて、目的の店舗を探すなどの親切な案内板を見たことがありません。ましてや、店舗に番号が表示され、番号を見ただけで大略の場所が推定できるなどのことは、経験したことがありません。

別の見方をすれば、迷ってあちこちを歩いてもらうのが目的です。という考え方もありますが、広告のチラシに記載してあるものが、結局手に入らず徒勞に終わった。もう、2度と行きたくない。となれば、商売は失敗です。また、駅の構内が大きい場合、非常時にどの方向へ行けばよいのかも、非常案内灯だけでは分かりませんが、番号をたどって行けばよいとなれば、避難経路も分かりやすくなるでしょう。

展示会場などは、端から連番で番号を振られることが多いようですが、確かにこれは探すのには最適の方法です。しかし、設定の段階でキャンセルがあれば、再度番号の振りなおしになり、多くの手間と時間を要し無駄でしょう。

これらの多くの体験から、建物内に番地を記していただければ利便性が増すのでは、と提案いたします。

提案している番号の振り方では、欠番があちこちにありますので、キャンセルになった場所も目立ちません。

方法は、先にフロアに番地をふり、その上に開店した店舗に番号を割り当てます。番号は必ずしも連続した番号にはなりません、連続している番号の店舗は小さく、番号が飛んでいる店舗は規模が大きい、面積が広いなど、ある程度分かるのがみそです。

<http://machizukan.net/>

施設内店舗に番地を・提案1！！



00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99

基本的な番地の割り振り

建物の最上階から、最下階まで、同じように番地を割り振ります。

上図において、左上を基準にして、X軸とY軸を振り与え、交点に両方の値を並べると、2桁の数値の表が完成します。この表を、各フロアに割り当てます。

基点00は、設計上の図面から得てもよいのですが、上部を北にすれば、通常は北西の角になるでしょう。00の位置が北西、99の位置が南東、つまり0と9を含む数値は最外周で、階段やエレベーター、出入り口、非常出口などに割り振ります。番号99(救急)が非常出口となれば、最上階から下階まですべて同じ箇所があり、分かりやすいでしょう。

2重線の中が店舗で、商店街、出展店舗などがある場所です。8x8で64箇所ですが、多分不足することはないでしょう。枝番号を付与する方法もありますが、番地が2箇所でも同じでも、隣り合わせだなど分かるくらいで支障はないとも考えられます。

階数の表示について

上記の番号の前に、階数の数値を加え、322、もしくは3F22などに表示する方法も考えられますが、その数値全部が番号と覚えられると、何階にあるのかが記憶から忘れられることもあるので、3階の22、もしくは3Fの22と言われるほうが違和感を生じないでしょう。

増築を繰り返している建物では、番号1123は建物1号で1階の23番ということもあり、11階建ての大きな建物なのだと考えて行ったら、平屋で探すのに苦労した。などと言うことがないように、建物番号と階数は別に表示したほうが、誤解を生じさせないでしょう。

柱の番号、吹き抜けについて

建物の中には、多くの柱があります。また、吹き抜けがある箇所もあります。ここではどう対処すればよいでしょう。柱には、場所の目印として1番近い番号を振り与えます。この場合、その近辺にある店舗の番号と同じになることもあります。その店舗は、分かりやすい位置になり、集客も増え、名前と場所を覚えてもらうことで売り上げ増加につながれば、双方の利益になることでしょう。吹き抜けにも番号を割り当てます。表示する場所はないですが、55が吹き抜けなどとしたら、大体、建物の中心にあることも判明します。

<http://machizukan.net/>

施設内店舗に番地を！！多数の例外

00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
30	31	32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
80	81	82	83	84	85	86	87	88	89
90	91	92	93	94	95	96	97	98	99

画像、上と同じ、縮小して再掲載

例外、その1

北の00から09がない、西の00から90がない。という建物もあるでしょう。しかし、41の個所に階段がある。この様な場合は、階段を分かりやすく40にします。フロアの中央にエスカレーターなどがある場合は、その近くの番号を割り振ります。

例外、その2

17、18、27、28と占有していて、番号は18を使っていたが、その店舗は撤退した。その後に入った店舗の番号は、同じでも別の27でも、希望により割り振ります。この場合、18にあった柱の番号は変更する必要はないでしょう。

例外、その3

店舗の場所が移動して、番地が変更になった場合は、番地が主体ですので、新しい番地表示に変更します。覚えやすい番号だったのに残念ということも生じますが、来店者の立場からすると、分かりやすい表示場所のほうがよいでしょう。

例外、その4

数値に4が入っていて敬遠されることがあるかも知れません。その場合は使わない方法も選択肢のひとつですが、柱の番号は規則正しく割り振る必要があるので、44の近傍の店舗が55番地などということも生じますが、やむを得ないでしょう。

しかし、4階と言う階数は存在するので、近頃は気にする人は少ないかも知れません。

例外、その5

うなぎの寝床のような、横長の建物の場合は、どのようにすれば分かりやすいでしょう。横を、00、01、02、03、から、49、50と割り振り、縦を000から900と振り、番地が3桁というのも考えられます。建物のある区切りで割付、A、B、C、と頭に付加する方法も考えられます。いずれにしても来訪者に分かり易く、関連する人たちが覚えやすく、案内しやすい番号付けがよいでしょう。

例外、その6

通路には、通常は番号の表示は不要ですが、入口と出口はありますので、上部もしくは通路
上に表示があると、方向が分かりやすいかも知れません。例：05北、70南西、などなど。

<http://machizukan.net/>

[街図鑑.netへ](#)

[発想](#)

[提案1](#)

[提案2](#)

[全頁印刷.pdf](#)

施設内店舗の床に番地を表示する！！提案2



A1	B1	C1	D1	E1	F1	G1	H1	I1	J1	K1
A2	B2	C2	D2	E2	F2	G2	H2	I2	J2	K2
A3	B3	C3	D3	E3	F3	G3	H3	I3	J3	K3
A4	B4	C4	D4	E4	F4	G4	H4	I4	J4	K4
A5	B5	C5	D5	E5	F5	G5	H5	I5	J5	K5
A6	B6	C6	D6	E6	F6	G6	H6	I6	J6	K6
A7	B7	C7	D7	E7	F7	G7	H7	I7	J7	K7
A8	B8	C8	D8	E8	F8	G8	H8	I8	J8	K8
A9	B9	C9	D9	E9	F9	G9	H9	I9	J9	K9
A10	B10	C10	D10	E10	F10	G10	H10	I10	J10	K10
A11	B11	C11	D11	E11	F11	G11	H11	I11	J11	K11
A12	B12	C12	D12	E12	F12	G12	H12	I12	J12	K12

基本的な番地の割り振り

この考え方は、建物の床に等間隔で番地を割り振り、それを基本とする考え方です。

番号の振り方は、エクセルの番号の振り方と同一です。店舗は1番近い番号を割り振ります。

建物が複雑な形状であったり、建て増しをしてあるような場合は、エクセルシートをもっと広げて、AA1なども使ったシートを作り、フロアの図面の上に乗せて番号を割り振る方法もありますが、A A1などは紛らわしいので、AからZまでを使う方法の方がよいでしょう。そのためには、全体を広げて使います。つまり、1区画の面積を少し広げます。

柱にもこの番地を表示して、場所をわかりやすくします。

階数の表示について

上記の考え方は、複数階を考慮していません。階数の表示は、別途考慮する必要があります。

例外

フロアの外周に、倉庫、事務所、階段、非常口、などがある場合は、頭に0番地を指定して、解り易くする方法や、イロハを使ったり、小文字のアルファベットを使うなどが考えられます。

増築・変形型の場合、提案2

A1	B1	C1	D1	E1	F1					
A2	B2	C2	D2	E2	F2					
A3	B3	C3	D3	E3	F3					
A4	B4	C4	D4	E4	F4					
A5	B5	C5	D5	E5	F5					
A6	B6	C6	D6	E6	F6	G6	H6	I6	J6	K6
A7	B7	C7	D7	E7	F7	G7	H7	I7	J7	K7
A8	B8	C8	D8	E8	F8	G8	H8	I8	J8	K8
							H9	I9	J9	K9
							H10	I10	J10	K10
							H11	I11	J11	K11
							H12	I12	J12	K12

建物を増築したり、事務所や物置を作ったりすると、実店舗の形状が変形します。この場合は、上図のように変形すると解り易いでしょう。

もし、上図であらわされてない個所に、事務所や物置があった場合は、最初の図面を適用してもよいでしょう。その方が、店舗を営業するほうには便利でしょう。

<http://machizukan.net/>

[街図鑑.netへ](#)

[発想](#)

[提案1](#)

[提案2](#)

[全頁印刷.pdf](#)